公民館報

ひろおか

vol. 172
2026.10.25

短歌のふるさと

フォト短歌

写真に添える五・七・五・七・七



買ったけど
線香花火　やってない
まだ終わらない　夏の思い出

（広丘小3年　安西　みおりさん）

広丘公民館の最新情報は
Facebookページをご覧ください。
https://fb.me/hirookakouminkan

広丘地区
LINE
@801ozyte

松風



約11・2センチメートル

夏休みの自由研究は、実に9割の保護者が何らかの関与をしているという調査結果がある。10歳そこそこではテーマ探しもひと苦労。子の何気ない疑問の声を拾い上げることが、親の最大のミッションかもしれない。

高3の娘が小学6年生のころ、お気に入りはジブリ映画『借りぐらしのアリエッティ』だった。人間の屋敷で隠れ暮らす小人の少女アリエッティと人間の少年の交流を描いている。

「アリエッティの身長は何センチくらいかなぁ？」。

探究開始のゴングが鳴った。アニメ絵本の登場人物や、植物などを定規で測り、習いたての「比」を使ってひたすら縮尺を計算していく。まさに〝日常生活に生きる算数〟だ。弾き出した身長は約11㌢。彼女が見上げる少年・翔は、ビル6階相当の巨大さと分かった。計算に明け暮れた一日はまた一つ、我が家にとって忘れられない夏の思い出となった。（館長・宮田幸恵）

広丘公民館

フォトニュース

7/27(月)・28(火) 夏休みこども広場







自分でさばいて串にさし、炭火焼きで食べました！



静かに勉強中





学生や地域ボランティアの協力のもと開催。各日50人の子ども達が参加しました。

夏休みの宿題に取り組みつつ、魚つかみやえんにちで夏を満喫しました。

8/4(火)・29(土) 昆虫教室



カブトムシ発見！



原新田在住の野溝美憲先生を講師に、昆虫採集と標本づくりを行いました。

8/26(水) ビール講座



クラフトビール3種の飲み比べセットとおつまみを堪能しながら語りました。

《表紙》写真に添える五・七・五・七・七

フォト短歌応募作品より

とれたよと　抱えた魚　夏空へ
ぼくの宝を　そっと見せたり
(原新田／18歳　ペンネーム・なつをさん)

夏の川　手にした魚　目を見れば
にがしてくれと　伝わってくる
(広丘小６年／鶴川 やまとさん)

表紙の短歌に寄せて

いかに「写真の解説だけ」にしないかがポイントです。少年の笑顔に、下の句「まだ終わらない夏の思い出」が重ねられています。魚を掴んだ感激、線香花火もしたい思い。欲張りで充実した夏休みの余韻が生まれたと思います。

選者：藤森 円さん
(塩尻短歌館職員)

平和を考える月間



平和祈念講演

8月2日(日)・えんてらす

高校生による「満蒙開拓」の研究発表と、平和祈念展示資料館の学芸員による「シベリア抑留」に関する講演。戦争によって人権が奪われた歴史を学ぶ機会となりました。



平和祈念展in塩尻

8月2日(日)～9日(日)・えんてらす

「シベリア抑留」に関するパネル展示を行いました。期間中は、クイズに答えるとお菓子をもらえる企画も実施。多くの来館者が平和を考える週間となりました。



平和バスツアー

8月22日(土)・東京

平和祈念展示資料館を訪問し、戦争に関する展示物を観覧。館内解説員の丁寧な解説から戦争の悲惨さを感じ、改めて平和の尊さを考える機会となりました。

第76号 ふるさと探訪

平和と人権を考える月間によせて

広丘公民館と4分館の企画「平和と人権を考える月間」で平和をみつめるバスツアーに参加し、3人の方（塩尻、戦後広丘に在住の方）の抑留体験記を読みました。

昭和19年に召集され、ソ連との国境での守備隊に入隊した方々の体験記です。塩尻町の方は南満洲鉄道入社後に現地で召集されました。広丘在住の二人の方は徴兵検査に合格後召集、国境守備の任につきました。ソ連との交戦後、過酷なシベリア抑留を体験し、無事復員した方々です。

広丘から出征する場合は広丘小学校に挨拶に訪れることが慣例となっていたようで、満州事変のはじまった昭和6年から『学校日誌』には名前と出身地が書かれています。

昭和19年4月から20年3月までに召集された人は20人を数えます。応召後のことは日誌からはわかりませんが、大陸にいた関東軍の主勢力は南方に移り、ソ連との国境警備が手薄になっていた当時の情勢から考えると抑留を体験した3人と同じようにその補充のために大陸に派遣され、国境守備にあたったのではないかと考えられます。

日誌には海軍志願兵や少年航空兵の道を選んだ高等科卒業生の名前も書かれています。また、愛知の中島飛行機工場4名の女子生徒を派遣した女子挺身隊の記録も見つけることができました。当時の記録を読み返し、一人ひとりの戦争史を明らかにしたいと思いました。

（太田秀保）



広丘小学校 蔵

ー広丘の昆虫と植物ー
その6　秋の植物の果実

写真・文　野溝美憲さん（原新田）

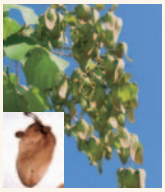
秋は多くの植物が実を付ける季節です。周りをよく見ると変わった形の果実をつける樹や草があります。今回は、そんな植物を中心にし、一部の種については種子や見られる昆虫を添えました。このほかにも、まだまだたくさんの種があります。ぜひ、探してみてください。


キササゲ


アオツヅラフジ


サイカチ


シナノキ


アオギリ


イチビ


イヌシデ


コブシ＆
アカスジキンカメムシ幼虫


ムラサキアオゲイトウ＆
メリケントビハムシ


メドハギの帯化

広丘公民館立 補習塾ステップ ステップ通信



補習塾ステップは、この秋で開設から丸3年が経ちました。小学1年から中学2年まで23人が在籍。学校で習ったことをしっかりと定着させよう！と、高校生や大学受験浪人生、社会人の先生たちが担任制で支援をしています。

現在、都市大塩尻高(都市大)から8人、松本県ケ丘高から3人が「高校生先生」として協力。特に都市大は学校でボランティアを募っていただき、教員養成大学への進学を目指す生徒を中心に参加しています。すっかり打ち解け、学校や友達の話しをしながら、とても和やかな雰囲気です。高校の様子を尋ねる中学生もいて、志望校の相談にも乗っているようです。

2ヶ月ごとに行う「都道府県テスト」「地図記号テスト」は、先生も生徒も学年も関係なく点数を競い合います。合格者は自分で名前と点数をホワイトボードに書きます。誇らしげな姿を見て「次は自分も！」と悔し涙を浮かべる子も。ここぞ！という時に頑張る気持ちが大切だと教えています。





世帯数と人口

（令和８年10月１日現在）

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,937	1,979	1,957	3,936
堅　石	1,057	1,249	1,262	2,511
郷　原	661	723	704	1,427
野　村	2,864	2,908	2,642	5,550
計	6,519	6,859	6,565	13,424
塩尻市	29,673	32,354	32,324	64,678

編集後記

今月号では、平和について思う事が有りました。高校生が満蒙開拓の体験者であるおばあさんを取材した映像作品が、深く心に残っています。

かつては身近にいた体験者も減り、語る事を避けるような時代の空気の中、昔の事だからと風化させず、自らカメラを回して歴史に向き合った彼の行動は本当に尊いものです。

その丁寧な取材内容は、大人の私が観ても知らなかったと気づかされることばかりで、大変熱のこもった作品でした。

地域の埋もれた記憶をすくい上げ、未来への架け橋になろうとする若い世代の情熱。彼の姿に拍手を送ると共に、私たち大人も大切な歴史の受け継ぎ方を深く考えさせられました。

（編集委員長　田中　真一）

令和８年10月25日　発行　編集・発行：広丘公民館　印刷：日本ハイコム㈱
住所：〒399-0702　長野県塩尻市広丘野村2069-1　電話：0263-52-0157　FAX：0263-53-3769
E-mail　hirooka@city.shiojiri.lg.jp